

第 25 章

災害及び事故

第 25 章 災害及び事故

水稲被害

平成 13 年における府内の水稲被害の概況は、被害面積 5790ha、被害量 1840t、被害率 6.0%で、前年に比べ被害面積は 550ha (10.5%)の増加となり、被害量は前年と同じであった。

労働災害

平成 13 年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が 94 人、負傷者(休業4日以上)と合わせて1万945人で、前年より114 人の増加となった。

産業別にみると、製造業での死傷者が3276人で全体の29.9%を占め最も多く、以下、建設業 2007 人(構成比 18.3%)、陸上貨物運送業 1157 人(同 10.6%)の順となっている。最も多い製造業の中では、鉄鋼業・非鉄金属精錬業・金属製品製造業が 1196 人と大きな割合を占めている。

火災

平成 13 年における府内の火災件数は、前年より 12 件減少し 4200 件(前年比 0.3%減)、死傷者は 11 人増加し 791 人(同 1.4%増)となっており、損害額は 13 億 7581 万円増加の 90 億 8864 万円(同 17.8%増)であった。

月別では、4 月の 440 件(構成比 10.5%)が最も多く、次いで 5 月の 394 件(同 9.4%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が 1700 件(構成比 40.5%)で最も多く、次いで北河内地域 549 件(同 13.1%)、泉北地域 484 件(同 11.5%)となった。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ 94 件減少し

1693 件(前年比 5.3%減)で最も多く全体の 40.3%を占め、次いで、「都市・プロパンガス関係」が 5 件減少し 559 件(前年比 0.9%減、構成比 13.3%)となっている。

また、平成 13 年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より 534 棟増加し 24 万 2799 棟(前年比 0.2%増)となった。

交通事故

平成 13 年における府内の交通事故発生件数は、6 万 3671 件(前年比 0.6%増)、死者 327 人(同 11.4%減)、負傷者 7 万 6594 人(同 1.1%増)となった。

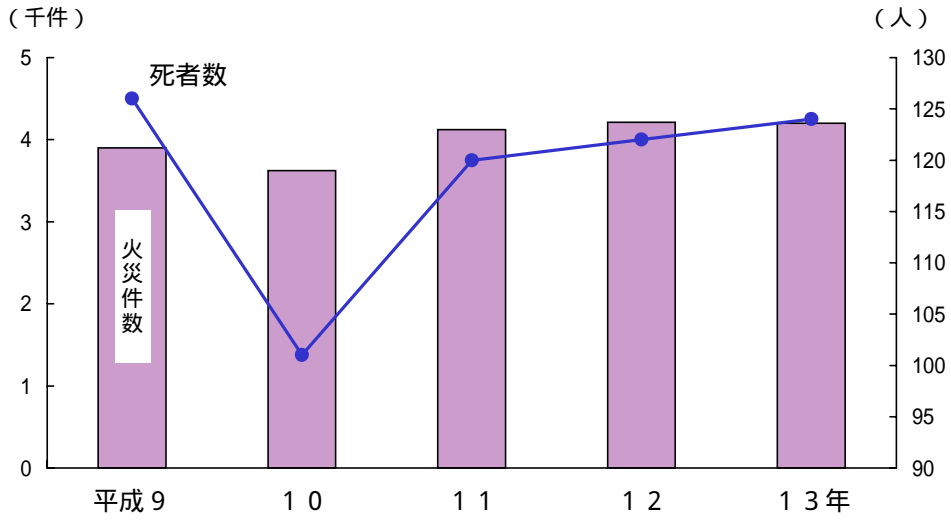
事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係 6 万 2680 件、歩行者 185 件、不明 806 件となっている。

このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が 3 万 4694 件と 54.5%を占め最も多く、以下、普通貨物自動車 8399 件(構成比 13.2%)、軽自動車 5806 件(同 9.1%)、軽貨物自動車 5787 件(同 9.1%)、原付(50cc 以下) 4285 件(同 6.7%)の順となっている。また、法令違反別にみると、安全不確認 2 万 6760 件(構成比 42.0%)、前方不注意 1 万 1473 件(同 18.0%)、動静不注視 7189 件(同 11.3%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて 5470 件で、死者 102 人、負傷者 5561 人となっており、横断中の事故が 3399 件と全体の 62.1%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、94 万 7169 件(前年比 1.6%増)でこれを都道府県別にみると、東京都の 9 万 12 件(構成比 9.5%)が最も多く、以下、神奈川県 6 万 9097 件(同 7.3%)、大阪府 6 万 3671 件(同 6.7%)の順となっている。

火災件数と死者数の推移



交通事故件数と死者数の推移

